

令和元年7月20日（土）

# 日本公民館学会

2019年度7月集会（広島集会）

## 研究A

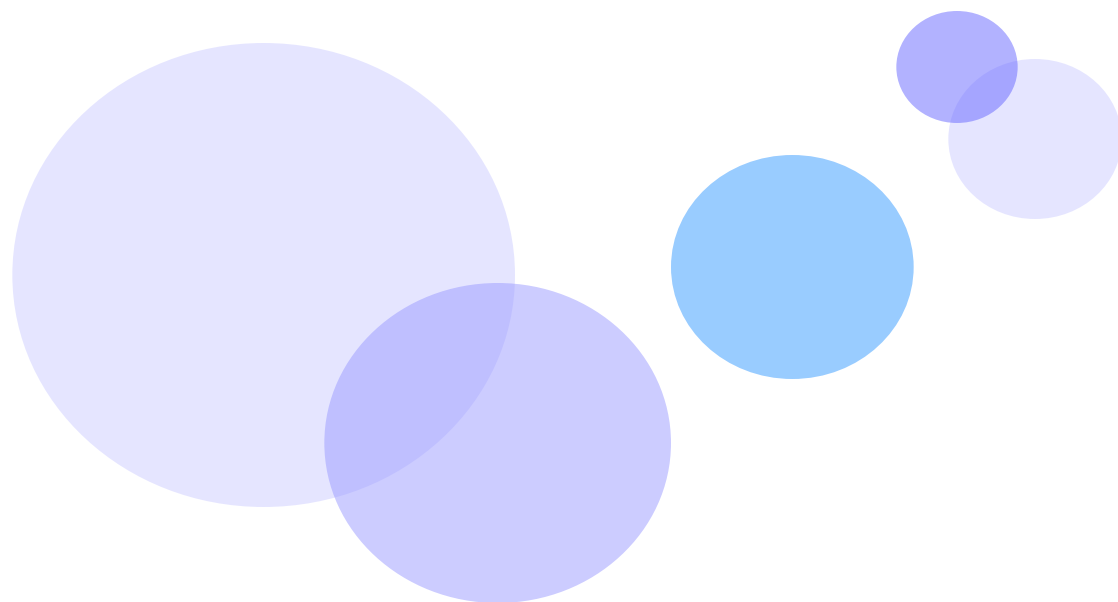
広島県生涯学習行政（各市町村への支援・研修）の展開

ぱれっとひろしま



広島県立生涯学習センター  
社会教育主事 松田 愛子

**広島県立生涯学習センターによる  
市町支援の取組とその成果の検証  
—研修制度を中心に—**



# 沿革

昭和57年10月	広島県立社会教育センター開所
平成元年 4月	広島県立生涯学習センターに改組
平成13年 4月	生涯学習推進マネージャー配置
平成16～17年度	社会教育活性化21世紀プラン 「市町村合併に伴う県立生涯学習センターの役割 と機能に関する調査研究」
平成18年度	事務事業総点検（県庁内の全組織・事業を対象）
平成19年度	広島県情報プラザ内への移転の方針決定
平成21年 4月	広島県情報プラザ内に移転
平成22年 4月	社会教育主事配置

## 地域住民に学習機会提供等を行う**市町の支援**

- ▶ 直接，県民を対象とする事業は行わない
- ▶ 県と市町の役割分担

### <参考>

「事務事業の見直し及び行財政改革に係る基本方針」(H15年10月27日)

※広島県分権改革審議会の中間報告的位置づけ

(抜粋)

- ・ 生涯学習機会の多くは，・・・個人や地域の個性を生かすべき分野であり，民間の自主的・主体的な取組みを最優先し，行政の役割や関与は縮小すべきである。
- ・ 行政が関与する場合も，地域の実態や住民ニーズに即した活動が可能で，かつ地域住民や地域に根ざした活動団体との協働が可能な**基礎的自治体を中心に役割を整理すべき**である。
- ・ 県教育委員会の生涯学習に関する役割は，極力縮小し，・・・。
- ・ 県立の社会教育施設については，生涯学習に係る県の役割の縮小に併せて，その必要性を再検討し，・・・廃止も含め，基礎的自治体への移譲や民間活用など，施設ごとにそのあり方の検討をすべきである。

# 5つの機能

調査研究

情報提供

指導者研修

モデル事業

市町・関係機関・団体等との  
連携・協働

# 施設

移転後（現在）【千田町】



執務室

移転前【光町】



## 広島県情報プラザ4階の一室

※鉄筋コンクリート造地上6階地下2階建

(公財)ひろしま産業振興機構，県立図書館，  
県立文書館等の複合施設

貸付あり（ジエロ，職能開発協会など）

貸会場有（研修室，多目的ホールなど）

有料駐車場有

県立図書館と会議室，応接室，公用車を共用

位置：JR広島駅からバスで約30分

建物構造：鉄筋コンクリート造4階建

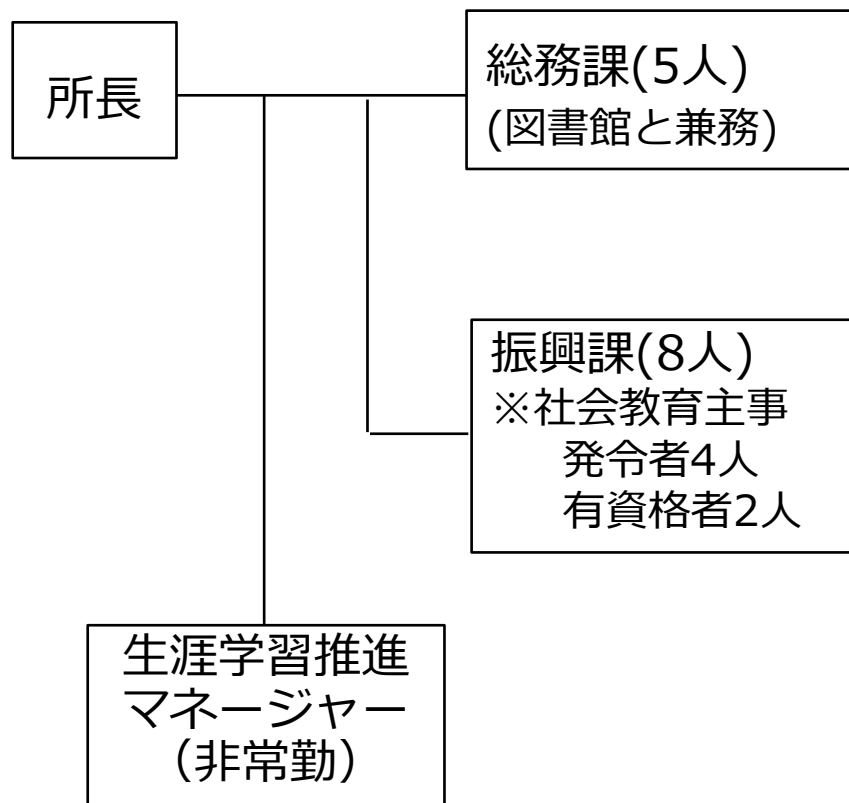
敷地面積：4,452m<sup>2</sup>

建物延面積：4,190m<sup>2</sup>

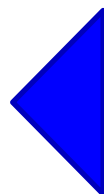
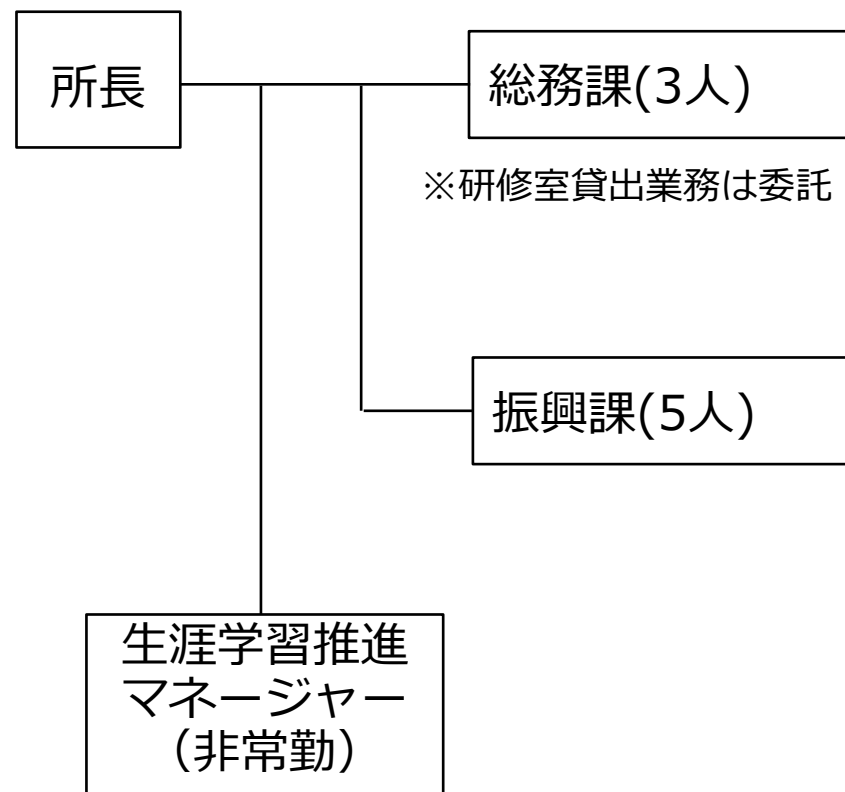
主な施設：大研修室，第1～7研修室，  
視聴覚室，団体事務室，  
資料室，駐車場，レストラン

位置：JR広島駅から徒歩約10分

## 移転後（令和元年度）



## 移転前（平成20年度）



## 移転後（令和元年度）

### 【支出】

約500万円

○一般運営費 ～ 約200万円

うち約40万円は入居施設への委託料

（光熱水費，保守・清掃・警備等建物管理費，維持修繕費の面積按分）

○事業費 ～ 約300万円

## 移転前（平成18年度）

### 【支出】

約3,900万円

○運営費 ～ 約3,700万円

光熱水費：約1,500万円

施設管理費：約1,500万円

窓口業務：約 500万円

一般運営費：約 200万円

○事業費 ～ 約200万円

### 【収入】

約1,000万円

○貸研修室 ～ 約750万円

○施設使用料 ～ 約100万円

（団体事務室，レストラン）

○光熱水費 ～ 約150万円





# 令和元年度 広島県立生涯学習センター研修体系

住民の学習活動の支援者として必要な知識・技能の習得と情報交換の場を提供します。

## 市町職員等研修

### 生涯学習振興・社会教育関係職員等研修

生涯学習振興・社会教育関係職員等研修	<b>基礎研修</b>	<b>講義</b> 生涯学習の基本事項，国・県の動向 <b>演習</b> 生涯学習・社会教育関係職員の役割 <b>実践交流</b> 現場からの報告～やりがいと楽しさ～	西部：5/13（広島県庁） 東部：5/17（福山庁舎） 北部：5/24（三次庁舎）
	<b>学習プログラム研修</b> （全2回）	<b>講義</b> 学習プログラム開発の理論と手法 <b>演習</b> 学習プログラム開発の実際	西部：6/7，6/28（広島県庁） 東部：5/31，6/24（福山庁舎）
	広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」 （略称：ひろプロ）	<b>講義</b> 学びから始まる地域づくり <b>説明</b> 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」の概要	西部：7/22（東広島市） 東部：7/19（世羅町）
	<b>コーディネーター研修</b> （試行）	<b>演習</b> 「ひろプロ」企画シートの作成 等	
	<b>社会教育主事等研修</b>	<b>講義・演習</b> <社会教育経営編> 9～12月（県内1会場） <b>講義・演習</b> <生涯学習支援編> 9～12月（県内1会場）	
<b>地域課題対応研修支援</b> （訪問型研修）	<b>拡充</b> センターの社会教育主事が訪問し，多様化する地域課題に対応した事業実施に係る市町の研修（人材育成）を支援。（広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」のモデル実践を含む）		
<b>公民館等職員研修会</b> （広島県公民館連合会との共催）	<b>講演・分科会</b> 事業の企画立案・評価改善，広報，学びの場のコーディネート，地域づくりの推進等	西部：11/28（広島市） 東部：11/29（神石高原町）	
<b>社会教育委員研修会</b> （広島県社会教育委員連絡協議会との共催）	<b>講演・トークセッション</b> 社会教育の動向，社会教育委員の役割等	6/5（竹原市）	

## 生涯学習センターの機能

調査研究

情報提供

指導者研修

モデル事業

市町・関係機関・団体等との連携・協働

### 指導者研修の基本的方向性

#### 実践重視

「学んだことを生かす」力が身に付くよう，実践を重視。

#### 参加型

自ら主体的に考え，他者と協働しながら学ぶことで，新たな気づきや価値を創造。

#### 交流の場

「互いの実践から学ぶ」ことや「経験を伝える」ことで，参加者同士の学び合い・交流を促進。

#### 指導力向上

市町で中心的な役割を果たす「社会教育主事」や中堅・ベテラン職員の指導力・コーディネート力を向上。

#### 評価・改善

「学習成果」の評価を基本とした研修事業の評価・改善システムの構築。

家庭・地域の教育力向上につながる知識・技能の習得と情報交換の場を提供します。

## コーディネーター等研修

### ボランティア・

地域学校協働活動推進事業 <b>地域学校協働活動推進員等研修会</b>	<b>講義・演習</b> 地域と学校の連携・協働，コーディネート事例発表，視察，意見・情報交換等	①9/3（県内1会場） ②11～12月（県内1会場）
地域学校協働活動推進事業 <b>協働活動支援員・協働活動サポーター等研修会</b>	<b>講義・演習</b> 子供との接し方 <b>実技</b> 危機管理，応急手当・救命処置等	6～7月（県内3会場）
「『親の力』をまなびあう学習プログラム」 <b>ファシリテーターステップアップ研修</b>	<b>講義・演習</b> ファシリテーション，教材研究等 <b>意見・情報交換</b>	①7月（県内1会場） ②9月（県内2会場） ③12/5（福山市）12/6（広島市）
<b>社会教育主事講習 [B]</b> インターネットを活用したライブ配信により，国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催の地方会場として開催	<b>講義</b> 生涯学習概論，社会教育計画，社会教育特講 <b>演習</b> 社会教育演習（宿泊研修，現地研修等） <b>※分割履修可能</b> （ただし，H32からの規定改正により既修得単位とみなされない科目があります。）	【県内1会場・全27日】 1/20～2/27（県立生涯学習センター）

## 専門職員養成

連携・協働のプラットフォームとして，広範なネットワークづくりを推進します。

## ネットワークづくり

<b>広島県生涯学習研究実践交流会</b> （日本生涯教育学会との共催）	<b>基調講演</b> <b>研究実践発表・グループ討議（分科会）等</b>	2月29日 （広島県情報プラザ）
---	---	---------------------

### 「学んだ人」や「学んだこと」が好循環する仕組み作り

連携・協働のプラットフォームとして，県と市町，それぞれが担う研修で「学んだ人」や「学んだこと」が好循環する仕組み作りを目指します。

# 指導者研修の基本的方向性

- ▶ **実践重視** 「学んだことを生かす」力が身に付くよう、実践を重視。
- ▶ **参加型** 自ら主体的に考え、他者と協働しながら学ぶことで、新たな気づきや価値を創造。
- ▶ **交流の場** 「互いの実践から学ぶ」ことや「経験を伝える」ことで、参加者同士の学び合い・交流を促進。
- ▶ **指導力向上** 市町で中心的な役割を果たす「社会教育主事」や中堅・ベテラン職員の指導力・コーディネート力を向上。
- ▶ **評価・改善** 学習「成果」の評価を基本とした研修事業の評価・改善システムの構築。

## 【生涯学習振興・社会教育関係職員等研修】

### ▶ 基礎研修

県内3会場 各1回



### 生涯学習・社会教育の基礎的な知識の習得

生涯学習・社会教育の基本事項，関係法令，国・県の動向，現場からの報告（やりがいと楽しさ），関係職員の役割等

こんな方におすすめ！

初めて社会教育行政等を担当する方，もう一度基本から学びたい方

事業や講座を企画する時には，必要課題と要求課題のバランスや期待される効果を意識することが大切であることが分かりました。



### ▶ 学習プログラム研修

県内2会場 各全2回



### 学習プログラムの企画・立案・評価能力の向上

地域課題の把握・分析，  
学習プログラム開発の基礎（企画立案，評価，改善）等

こんな方におすすめ！

事業・講座の企画運営を行っている公民館等職員，地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員等

プログラムを作成するだけでなく，評価まで考えて取り組むと計画的に実践しやすく，その地域の課題や改善点が見えてくると思いました。



## 【生涯学習振興・社会教育関係職員等研修】

### ▶ 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」 コーディネーター研修 【試行】

県内2会場 各1回

#### 学びを通じた地域づくりのためのコーディネート力の向上

講義「学びから始まる地域づくり」、説明「広島版『学びから始まる地域づくりプロジェクト』の概要」、「ひろプロ」企画シートの作成等

こんな方におすすめ！

事業・講座の企画運営を行っている公民館等職員，地域づくりに関する講座の企画運営を行う職員，社会教育主事（同有資格者）等 ※「学習プログラム研修」（または同等の研修）を受講済の方

### ▶ 社会教育 主事等研修

県内2会場 1回

#### 専門的教育職員としての知識・技能の向上

- 社会教育経営編（社会教育行政の経営戦略 ほか）
- 生涯学習支援編（参加型学習の実際とファシリテーション ほか）

こんな方におすすめ！

社会教育主事，同有資格者，社会教育行政等の中核となる職員等

行政の中に横串を刺すことが必要だと感じていましたが、「なぜ必要か」を説明するためのヒントを得ることができました。



## ▶ 地域課題対応研修支援（訪問型研修）

複雑・多様化する社会や地域の課題に対応した事業の充実に  
向けて、市町の社会教育主事、研修担当職員等と連携・協働し、  
市町が実施する研修(人材育成)の企画・運営を総合的に  
**支援**

### STEP1 相談受付

「相談シート」を提出

### STEP2 研修企画支援

相談内容をヒアリングし、地域課題に対応した研修の企画に関するアドバイスや情報提供を行います

### STEP3 当日運営支援

必要に応じて、センターの社会教育主事が訪問し、研修当日の講師・コーディネーターを務めます

### STEP4 アフターフォロー

次回以降の改善・発展、主体的な研修実施に向けて、支援を継続します



講座の「企画」と「評価」の疑問が解消できました！

東広島市社会教育関係職員研修会【スキルアップ研修】  
「成果」につながる講座企画ワークショップ



視点を広げて地域と関わりたいと思いました！

神石高原町社会教育委員研修会  
社会教育委員の役割と実践事例



三次市放課後子ども教室安全管理員研修  
子供への関わり方について 等

## ▶ 広島県生涯学習研究実践交流会

県内1会場 年1回

連携・協働のプラットフォームとして、広範なネットワークづくりを推進

### ・日本生涯教育学会と共催

・平成24年度～

職員研修（上級研修）の研究成果や、当センターの調査研究（職員の個人研究）の成果発表の場として事業開始

・平成26年度～ 基調講演・分科会（事例発表）

・平成30年度 151人（14都県）

・県内外からの参加者を考慮し、土曜日午後に開催（終了後懇親会）



全体会



分科会（事例発表等）



分科会（グループ討議）

# 事業の成果① 参加者数（経年推移）

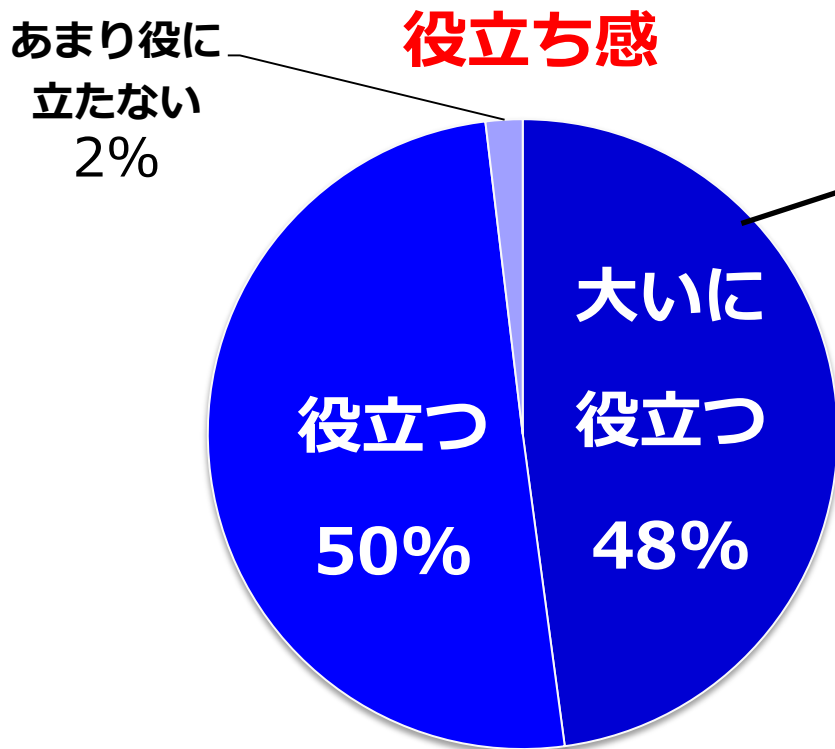
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
基礎研修	37	40	43	95	119	113	104	101	106	758
学習プログラム研修				56	51	56	83	80	65	391
施策立案研修	11	15	12	13	11	6	—	—	—	68
社会教育主事等研修	—	26	18	23	18	—	30	37	56	208
計	48	81	73	187	199	175	217	218	227	1,425
参加市町数 (全23市町)		22		22	22	21	22	22	23	23
生涯学習研究実践交流会	—	—	113	101	106	85	125	125	151	806

▶ **参加者は年々増加傾向（延べ2,000人以上が参加）**

- ※ H22から事業開始（H21モデル事業）
- ※ 「基礎研修」「学習プログラム研修」は、H24まで「初級研修」
- ※ 「施策立案研修」は、H24まで「上級研修」

# 事業の成果② アンケート結果 1

Q. 今回の研修で学んだことは**明日からの仕事に役立つものになりましたか。**(当日の振り返りアンケート)



## 【自由記述抜粋】

- グループ協議の中で自分だけでは思いもよらない考えに気づくことができました。
- プログラムを作成するだけでなく、評価まで考えて取り組むと計画的に実践しやすく、その地域の課題や改善点が見えてくることに気が付きました。
- 今まで集客数や注目度に意識が集中していましたが、今一度根本から見直す必要があると実感しました。
- 最新の施策動向などの情報を得て、地域住民を巻き込んで何かを始めることができそうだと感じました。
- 地域の多様な主体と連携・協働していくことで、広がりのある地域のための事業を展開していきたいです。
- 高齢化が進む地域のなかでどのように「地域づくりの支え手、担い手」を育成していくかが改めて大きな課題であると認識させられました。

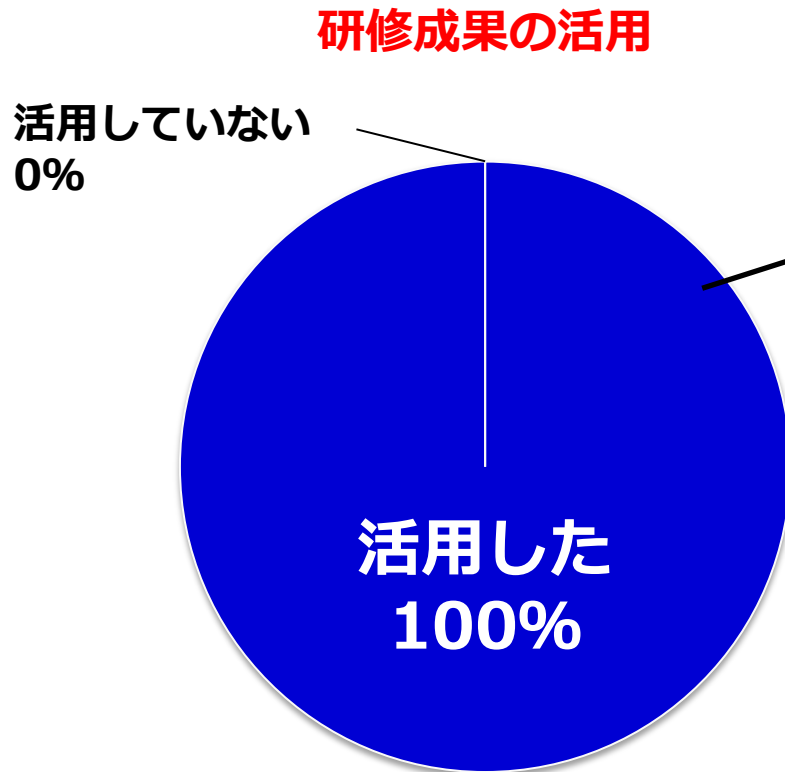
H30研修事業振り返りアンケート集計結果

▶ **研修の「役立ち感」 肯定的評価 98%**



# 事業の成果② アンケート結果 2

Q. **研修で学んだことを業務で活用**することができましたか？  
(フォローアップアンケート)



H30研修事業フォローアップアンケート集計結果

## 【自由記述抜粋】

- 地域社会の要望等を把握し、事業計画を企画立案しています。
- 単独講座であっても、どこに個人の要望があり、社会の要請は何かを考えて企画することに努めています。
- 来年度に向けてこれから講座の企画をする予定ですが学んだことを意識して取り組んでいくつもりです。
- 最新の施策動向について情報を得ることができたので実際の業務に役立てることができました。
- 次の研修でファシリテーション力のスキルアップを行うよう計画しています。
- 研修で学んだ視点を事業に反映させるよう工夫しています。
- 生涯学習・社会教育の最新の情報や地域に関する情報をより敏感に取り入れるようになりました。
- 研修で学んだことを生かして、新しく関わっている職員にアドバイスする機会がありました。

▶ **研修成果の活用 肯定的評価 100%**

# 事業の成果③ 公民館等での実践事例



## 大竹市立玖波公民館

(H26優良公民館表彰・最優秀館)

### 地域ジン 学びのカフェ

- ・地域住民同士のつながりを構築
- ・地域課題を住民とともに学び解決



## 廿日市市原市民センター

(H27優良公民館表彰)

子育てサポート事業

### はらきっず&ママカレッジ

- ・幼児期からの教育を地域で支える仕組み
- ・信頼できる地域の身近な人との交流の場



## 神石高原町神石公民館

(H27優良公民館表彰)

### いきいきふれあい教室

- ・郷土食の掘り起こしと地域への普及
- ・食の伝統文化を次世代へ継承



## 庄原市西城自治振興センター

(H28優良公民館表彰)

### やすらぎプロジェクト

- ・高齢者の生きがいを推進
- ・地域づくりを担う新しい人材の育成



## 竹原市忠海東公民館

(H28優良公民館表彰)

世代間交流(地域交流)

### 忍者でふたまで体験

- ・子供の夢をかなえる体験型
- ・地域が育む子供の人間性や社会性



## 広島市牛田公民館

(H28優良公民館表彰)

### ピカドン竹やぶ音楽祭

- ・「平和」をキーワードに住民主体のまちづくり活動を推進

# 事業の成果③ 公民館等での実践事例



## 府中市栗生公民館

(H29優良公民館表彰)

### 親と子の地域で過ごす サマーバケーション

- ・コミュニティ・スクールとの緊密な連携
- ・地元を離れた若者への呼びかけ



## 海田町海田公民館

(H29優良公民館表彰)

### 未来のまちの おせっかいさん養成講座

- ・子育て支援者(地域人材)の育成
- ・様々な地域課題解決の取組へ発展



## 東広島市志和生涯学習センター

(H29優良公民館表彰)

### 地域リーダー “たまご育て”事業

- ・地域づくりに主体的に参画する住民の育成
- ・多様な主体と連携した課題解決型学習



## 広島市古田公民館

(H30優良公民館表彰:最優秀館)

### このまちにくらしたい プロジェクト

- ・中学生の参画
- ・ソーシャルデザインと人材育成



## 廿日市市串戸市民センター

(H30優良公民館表彰:優秀館)

### ぼくのまち わたしのまち プロジェクト

- ・次世代のまちづくりへの関心
- ・シビックプライドの醸成



## 尾道市向東公民館

(H30優良公民館表彰)

### 防災フェアin向東 —地域を繋ぐ環・輪・和・話—

- ・公民館を核とした地域の防災力の向上
- ・繋がりがつくる元気なまちづくり

# 成果と課題（まとめ）

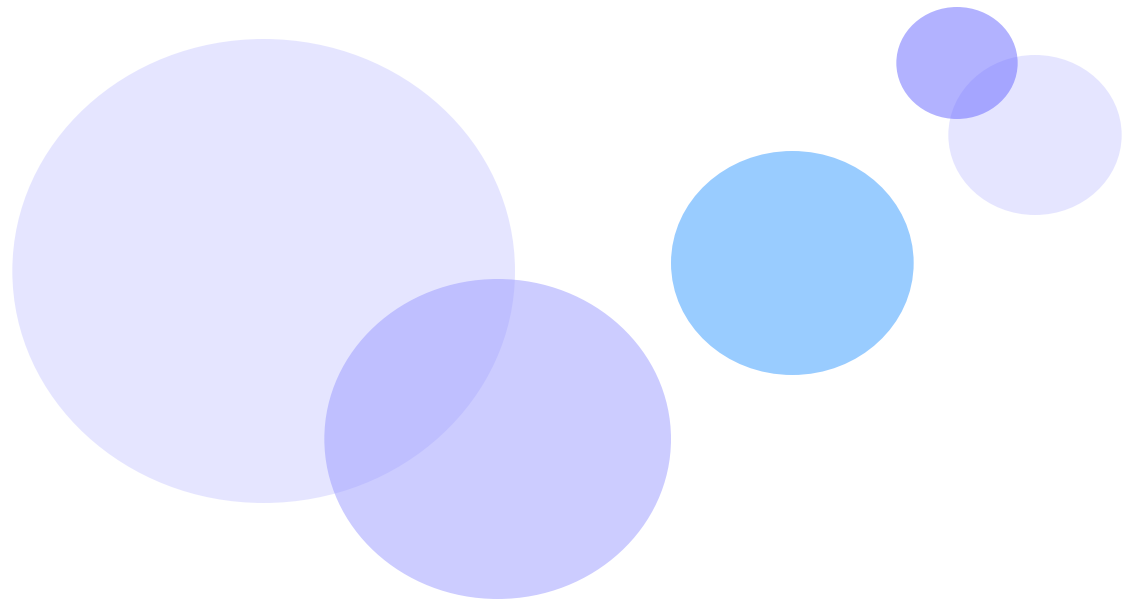
## 【成果】

- ▶ 「受講者数（定員充足率）」及び「研修の役立ち感」や「研修成果の活用」の割合は、例年高い水準を維持している。
- ▶ オリジナルの「研修コンテンツ」（プログラム、講義演習資料、事業企画フォーマット等）の開発が進み市町で幅広く活用されている。
- ▶ 各事業に対し、市町職員等から一定の評価を得ており、市町から頼られる存在になりつつある。
- ▶ 県内の公民館等で、多様な実践が展開されるようになっている。

## 【課題】

- ▶ 市町における生涯学習・社会教育推進体制の弱体化
  - ・ 社会教育主事発令者の減少（10／23市町）（R1.4現在）
  - ・ 公民館の首長部局への移管・コミュニティーセンター化（7／23市町）（R1.4現在）
  - ・ 公民館等職員の減少・非常勤化，指定管理の増加
- ▶ 市町における研修への意識や参加実態の差（温度差）
- ▶ 学びの成果を地域課題解決につなげる具体的な仕掛けやノウハウの蓄積不足（情報収集，調査研究が不十分）

# 研修による成果の検証



# 研修修了者の声

日比野 稔 / ひびの みのる

廿日市市津田市民センター 主任主事



- ・中山間地域である津田地区は、自然豊かな地域であるが少子高齢化や人口減少という問題があります。現在は、地域住民と一緒に、自然を体験しながら地域を知ってもらおう事業や、地域の将来や農業などの現状や将来性を話し合い、地域が活性化できるように共有して事業展開しています。
- ・多目的・多世代・多様な人がいる中で、意見のまとめ方や支援の方法が学びたいです。（公民館職員としてどこまでどのように行動すれば？）

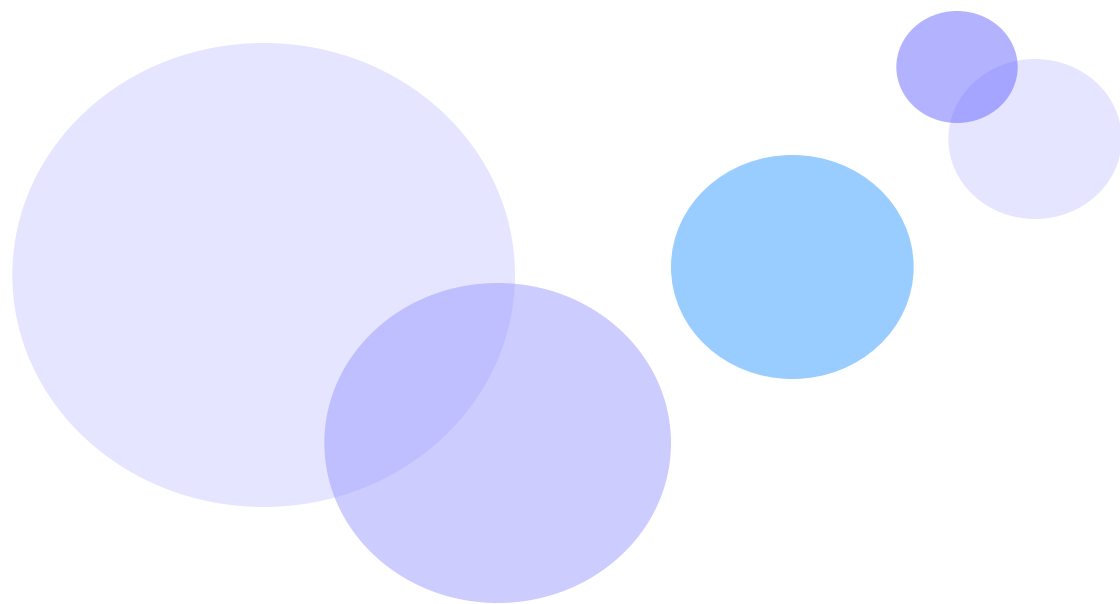
# 研修修了者の声

## 山本 倫代 / やまもと みちよ 広島市湯来西公民館 主事



- ・今年度の事業だけでなく、今後継続していきたい事業についてどのように展開すべきか考えるようになりました。
- ・ボランティア、講師、他者など連携するなかで、先導的な立場で運営するのではなく、ファシリテーターのマインドを大切に、時には一歩引いた形で、それぞれの方の主体性を尊重しながら運営していくよう心がけています。
- ・研修を受講することで、日頃の事業運営についても改めて見直し、連携・協働に向けて意識しながら業務に当たることができています。

# 「広島版 学びから始まる地域づくりプロジェクト」 (ひろプロ) の趣旨と概要







# 学びから始まる 地域づくりプロジェクト



ぱれっとひろしま

## 広島県立生涯学習センター



# 広島版 学びから始まる 地域づくりプロジェクト

—こんなプロジェクトです—

# 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」(略称：ひろプロ) 支援事業

趣向

地域住民にとって最も身近な学習・交流の活動拠点である「公民館」(\*)が、多様な主体と連携・協働して地域課題に対応した学習機会を提供し、学びを通じた地域課題解決の活動を促進するための拠点として重要な役割を果たせるよう支援する。

※「公民館」は、「コミュニティセンター」等の公民館類似施設を含む。

現状と課題

- 「高齢者の趣味・教養のたまり場」というイメージが定着し、利用が活性化していない。(利用者の減少・固定化)
- 多様な取組が行われているが、学びの成果を地域課題解決につなげる具体的な仕掛けやノウハウの蓄積がない。

→ 市町の実現格差あり

目指す姿

- 地域の多様な世代の人々(機関・団体等を含む。)が「公民館」に集い、豊かなつながりや学び合いが生まれている。
- 「公民館」がコーディネート機能を発揮し、住民の主体的な学びを通じた地域課題解決の取組を促進するための地域ネットワークの中核拠点となっている。

→ 市町の現状・課題に応じた県の支援

## 新たな取組の概要

- 住民の主体的な学びを通じた地域づくりの推進に向けて、社会や地域の課題解決と学びをつなげる「学習プログラム」のモデルを実証開発。

### 「ひろプロ」のコンセプト

- ① 広島モデルを実証開発(オール広島)
- ② 実践の拠点は「公民館」
- ③ アレンジ自由・成長性・発展性
- ④ 体験型・参加型・参画型
- ⑤ 連携・協働・共創

- プログラムをアレンジして各地域の実態に応じたプロジェクトをコーディネートできる人材(「公民館」職員等)を育成。

- 地域資源(社会資源)である「公民館」を活用し、行政(首長部局)や大学・企業・NPO、地域の関係機関・団体等の多様な主体と連携・協働しながら、地域住民が主体的に参画できる社会教育・生涯学習のプロジェクトとする。

- 県及び市町の「社会教育主事」がその役割を発揮し、専門性(有用性)を生かす仕組みを取り入れる。

→ 市町では対応困難な県域でのモデル的取組

## 具体的なイメージ

### ■ 「ひろプロ」の実証開発

#### ◆ 地域の未来像を共有するための学びの場づくり

地域づくりワークショップ、まちづくり学校、まちづくりカフェ、地域のお宝発見、公民館エリア探検、ふるさとの未来・再考!フォーラム、これからの○○地区を考える会、未来づくりトークセッション...

#### ◆ 地域の人材による家庭教育支援

子育てサロン・おしゃべりカフェ(地域の居場所づくり)、子育て講座(『親の力』をまなびあう学習プログラム講座)等、家庭教育支援チームの組織化、子育てサポーター・ファシリテーター等の地域の人材育成、子育てに役立つ情報の提供・啓発...

#### ◆ 地域の人材による地域学校協働活動の推進

公民館等を拠点とした体制整備・仕組みづくり、学校支援活動(学習支援、学校環境整備、登下校の見守り等)、放課後子供教室、地域未来塾、地域の人材発掘・育成(研修、人材バンク)、地域住民の理解促進・ビジョン共有...

#### ◆ 地域の人材による社会的包摂の実現

地域子供食堂、○○公民館カレーの日、ユニバーサルカフェ、できること持ち寄りワークショップ、地域支えあいプロジェクト、セーフティネット学習会、地域支え合いマップづくり...

#### ◆ 地域防災・減災の仕組みづくり

関係組織のネットワーク化、避難所運営の仕組みづくり、防災ワークショップ、防災キャンプ、防災フェスタ、防災運動会、子供防災士養成講座、避難所開設訓練、防災「ひろしまプログラム」、『みんなで減災』一斉地震防災訓練、ハザードマップ作成...

#### ◆ その他(地域資源を活用した地域課題解決・地域の人材育成)

若者やシニア世代の地域参画、地域行事活性化・地域の担い手育成、高齢者の健康・生きがいづくり、介護、多世代交流、グローバルリーダー育成、伝統文化継承、ふるさと教育、空き家対策、婚活支援、地域ブランド・特産品開発、コミュニティビジネス...

### ■ 学びを通じた地域づくりに関するコーディネート力の向上(「ひろプロ」コーディネーター研修、モデル実践の支援)

- 「ひろプロ」の企画・調整・運営を務める職員対象の研修を実施
- 既存の「地域課題対応研修支援(訪問型研修)」の枠組を活用(拡充)し、市町の現状・課題に応じて、モデル実践を支援
- 「『ひろプロ』コーディネーターハンドブック」開発(調査研究)

### ■ 参加促進・成果発信・「公民館」のイメージ向上

- 事業成果発信による、新たな参加者層の巻き込み
- アイコン・イメージキャラクター等開発



「ひろプロ」マーク

現行の取組

### 公民館等活性化モデル事業 (H26~)

子供を含めた地域住民が公民館等に愛着と理解が持てるような活動に対して助成(企画の支援)【主催:県公民館連合会】  
→ 認知度向上・活用促進・情報充実

### 訪問型研修 (H28~)

各市町の課題に応じた研修の実施について、県の社会教育主事が訪問して支援  
→ 研修が必要な市町への働きかけ

### 公民館等取組事例集 (H28~)

公民館等の取組事例を収集し、HPで情報提供  
→ 新たな好事例の開発・支援

# コンセプト

- ① **広島モデルを実証開発（オール広島）**
  - ▶ 今、広島県の「公民館」がおもしろい！
- ② **実践の拠点は「公民館」**
  - ▶ “公民館”も“コミセン”も～
- ③ **アレンジ自由・成長性・発展性**
  - ▶ 地域オリジナルの未来を描く～
- ④ **体験型・参加型・参画型**
  - ▶ 住民の主体性や当事者性を育む
- ⑤ **連携・協働・共創**
  - ▶ プラットフォームとして機能する場づくり

## 社会課題 地域課題

少子高齢化・人口減少  
(人生100年時代)  
地域の担い手不足  
防災減災  
環境・福祉  
産業・雇用  
家庭教育支援  
学校支援  
貧困・教育格差  
伝統文化継承  
グローバル化...

地域住民



大学・学校

地域住民



民間企業

- 地域の課題や将来像を共有
- 地域課題解決学習で住民をエンパワメント

集う

学ぶ

結ぶ

- 学びの成果を地域課題解決へ
- 住民主体の協働のまちづくり

NPO・  
地域団体



生涯学習・社会教育関係職員

首長部局等



地域住民

市町  
職員  
社会  
教育主事

「公民館」  
職員

県  
センター  
社会  
教育主事

地域住民

「ひろプロ」コーディネーター

地域資源（社会資源）の活用  
(公民館, コミュニティセンター等)

## 課題解決

## 地域づくり コミュニティ の活性化

## 地方創生

地域づくりのための  
新しいプラットフォームとし  
ての  
「公民館」へ発展



※「公民館」は、「コミュニティセンター」等の類似施設を含む。



## 公民館等職員のコーディネート力の向上

### 【向上させたい能力】

- **地域の課題や将来像を共有し、地域住民が当事者意識をもって協働して地域課題解決学習に取り組むことができるよう、学びと活動が好循環する施策・事業を企画・実践する。**
- **人づくり・つながりづくりを通じた地域づくりの基盤を、他部局や多様な主体と連携・協働しながらともに構築する。**
- **地域内外の多世代・多目的・多様なたくさんの人や組織が乗り入れ、オープンでフラットなプラットフォームとして機能する場を提供する。**

# 内容

時間	内容	講師等
10:00～ 10:30	オリエンテーション ぱれっとカフェ(アイスブレイク)	
10:30～ 12:00	<b>【講義】</b> 学びから始まる地域づくり	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学 教授 山川 肖美
	昼休憩	
13:00～ 13:30	<b>【説明】</b> 広島版「学びから始まる地域づくりプロジェクト」の概要	広島県立生涯学習センター 社会教育主事 松田 愛子
13:30～ 16:25	<b>【演習】</b> 「ひろプロ」企画シートを 作成してみよう！	<b>【講評】</b> 広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー 広島修道大学 教授 山川 肖美
16:25～ 16:30	アンケート記入・事務連絡	



# 「ひろプロ」で取組を期待するテーマ

- ① 地域の未来像を共有するための学びの場づくり
- ② 地域の人材による家庭教育支援
- ③ 地域の人材による地域学校協働活動の推進
- ④ 地域の人材による社会的包摂の実現
- ⑤ 地域防災・減災の仕組みづくり
- ⑥ その他  
地域資源を活用した地域課題解決・地域の人材育成



# みんなでつくる・未来の〇〇プロジェクト（まるごと〇〇大学）【〇〇公民館】

## 地域の現状・課題（今の地域）

- ・過疎や高齢化が進み、若年世代の減少
- ・若年世代の地域参画機会の減少
- ・地域住民（多世代）同士の交流の場の不足
- ・公民館等の貸館状態化、利用者の固定化

## 目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・住民参画による地域ビジョンの形成・共有
  - ・若い世代の地域貢献活動の活性化・世代間交流
  - ・学びを通して社会に主体的に関わり行動する人材の育成
- 公民館が“学び”から新しい未来を生み出す地域の拠点に！**



## 取組の概要

ポイント

- ① 住民一人一人の思い、アイデア、学びの成果を地域づくりに生かす！
- ② 地域の人、組織、事業、自然環境、文化、歴史、生活…すべてをまるごと学習資源に！
- ③ 若い力で地域を変える！（学ぶ力と郷土愛の育成）

### ■地域への思いや未来像を共有するためのワークショップ（まるごと〇〇大学）

- ① 地域の思いを知る（プロジェクトチーム立ちあげ、住民リサーチ（インタビュー、アンケート）
- ② 地域の変化を読む（地域の昔と今を知り、現状を把握）
- ③ 地域の魅力を集める（中高生による地域の魅力発見フィールドワーク）
- ④ 地域の未来を語りあう（中高生と多世代の住民の対話で生み出す地域の未来像）
- ⑤ できることから始める（未来像を実現する事業を立案し、活動を開始！）

### ■プロジェクトチームによる企画会議（事業計画立案、試行実施）

### ■事業開始（まるごと〇〇大学）

### ■公民館まつりへの出展・協力（成果発表）

- ・まるごと〇〇大学体験ミニコーナー
- ・プロジェクトの紹介展示ブース
- ・中高生による成果発表

#### 【事業（まるごと〇〇大学）のアイデアの一例】

- ・中高校生レストラン（〇〇カフェ）  
（特産品を使ったメニュー開発、中学生・高校生によるレストラン運営）
- ・〇〇アドベンチャー・パーク  
（豊かな自然環境を生かした子供の体験学習の場づくり）
- ・〇〇チャレンジクラブ  
（誰かのやってみたいこと・挑戦をみんなで応援）
- ・〇〇農業大学（若い世代の力でクリエイティブな未来の農業を創造）

## 成果指標（目的の達成度、波及効果）

### 【定量評価】

- ・プロジェクトへ参加した住民数
- ・公民館等の利用者数
- ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数

### 【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

## 実施体制（連携・協力団体等）

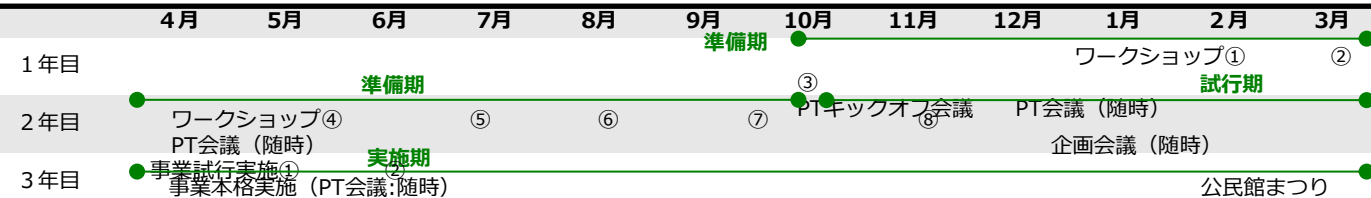
- ・〇〇公民館（プロジェクト主管）
- ・〇〇地区自治協議会 ・地域おこし協力隊
- ・〇〇市役所（役場）〇〇課
- ・〇〇市教育委員会〇〇課
- ・保育所、小学校、中学校、高等学校、PTA
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

## 運営財源・活動資金

- ・△△市（町）まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会（農業部会）予算
- ・公民館主催事業予算 ほか

## 発展・継続・関連

- ・プロジェクトチームの自立化支援（発展・充実）
- ・学校や企業、団体等との連携の広がりと継続



### 【参考情報】

- このまちにくらしたいプロジェクト（広島市古田公民館）
- 若者参画による過疎地域活性化事業（神石公民館）
- 開成っ子はぐくみ会（佐賀県佐賀市開成公民館）
- チームさかわ（高知県佐川町）

# 地域みんなで☆子育て応援団プロジェクト（家庭教育支援チーム〇〇）【〇〇公民館】

## 地域の現状・課題（今の地域）

- ・子育て中の親の養育力の低下
- ・家庭教育に関する身近な学びや相談の機会が乏しい
- ・家庭と地域のつながりの希薄化
- ・多様な世代の関わりが少ない

## 目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・「親」の主体性を育み、支援の循環を生み出す学びの場づくり
  - ・子育て家庭を支える地域のネットワークと体制づくり
  - ・多様な世代が関わり合い、安心して子育てができる地域コミュニティの創造
- 子の育ちを応援する“つながり”と“学び”の場としての公民館**



## 取組の概要

ポイント

- ① 「してあげる支援」から、親が親自身の力で育っていくための「力を引き出す支援」へ！
- ② 子育て家庭と多世代の交流による関係づくり（地域育ち・地域がひとつの大きな家族）！
- ③ 子育て中の親（当事者）や地域の人材で支援チームを立ち上げ（次世代の支援者を育成）！

準備期

- **子育て応援団プロジェクト・ワークショップの開催**
  - ・地域内の子育て支援に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
  - ・地域課題を共有し、一体的な家庭教育の推進を図る
- **家庭教育支援チーム（立ち上げ準備）キックオフ会議（企画会議：毎月1回定例会）**

試行期

- **家庭教育講演会**
- **子育ておせっかいさん養成講座（「親プロ」ファシリテーター養成講座）**
  - ・次世代の支援者育成（→チームへの参加呼びかけ）
- **「子育てにっこりカフェ」（オープンスペース）開設**

実施期

- **ママとパパの子育て応援講座（4回講座）** ■ **「親プロ」講座（主催講座、訪問型講座）**
- **子育て応援ファミリーフェスタ（公民館まつりと合同実施）**
  - ・「親プロ」体験ブース ・親子で楽しめる体験活動ブース ・子育てサークル紹介ブース等
- **「家庭教育支援チーム」の発足**

発信  
公民館  
だより  
・プログラム  
・SNSで情報

## 成果指標（目的の達成度、波及効果）

### 【定量評価】

- ・講座等に参加した住民数
- ・家庭教育支援に関わった支援者等の数
- ・家庭教育支援チームの発足
- ★この地域で子育てしたいと思う住民数

### 【定性評価】

- ・家庭教育支援のネットワークの構築
- ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

## 実施体制（連携・協力団体等）

- ・〇〇公民館（プロジェクト主管）
- ・「親プロ」ファシリテーターの会
- ・健康福祉部局 ・民生児童委員
- ・〇〇地区自治協議会 ・社会福祉協議会
- ・地域の子育てサークル ・保育所、幼稚園、児童館、小学校、中学校、PTA ・老人会 ・女性会

## 運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会予算
- ・公民館主催事業予算（ほか）

## 発展・継続・関連

- ・家庭教育支援チームの活動促進、自立化支援 ・学齢期の子供の家庭への支援の充実
- ・つながりにくい家庭に支援をつなげるための、福祉部局や学校との連携の仕組みづくり
- ・子育てガイド・リーフレット作成 ・地元企業等との連携

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							●			●		
							●			●		
2年目	●											●
	●											●
3年目	●											●
	●											●

### 【参考情報】

- 府中町家庭教育支援チーム「くすのき」（府中町）
- 向東地区家庭教育支援チーム「親ぢから」（尾道市）
- 尾道市「すまいるぱれっと」（「親プロ」ファシリテーターの会）

# 地域・学校 共育ちプロジェクト ～子供は地域の宝じゃけん～【〇〇公民館】

## 地域の現状・課題（今の地域）

- ・少子化・核家族化の進展，共働き世代の増加
- ・地域のつながりの希薄化
- ・地域格差・経済格差の進行
- ・学校を取り巻く問題の複雑化・困難化

## 目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・地域ぐるみで子供たちの健全育成を図る
- ・子供たちの豊かな社会体験活動の推進
- ・学校・家庭・地域の連携強化による地域社会の教育力の向上

→公民館がコーディネート機能を発揮し、地域と学校のパートナーシップを実現



## 取組の概要

- ポイント**
- ①地域が学校を元気にし，元気な学校が地域を活性化する好循環の仕組みづくり！
  - ②公民館がコーディネートし，地域の資源（ヒト・モノ・環境…）を最大限に生かす！
  - ③子供と大人の学びの好循環により，地域全体の学びが活性化！

- 準備期**
- 「学校を核とした地域づくり」ネットワーク会議の組織化，研修会(ワークショップ)の開催
    - ・学校や地域活動に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
    - ・地域学校協働活動の理解と趣旨の共有
  - 企画会議
    - ・地域の多様な経験や技能を持つ人財や公民館利用団体等とコラボした事業を企画
- 試行期**
- 〇〇キッズ(夏・冬・春休み講座)
  - 学校の文化祭への公民館出前講座，出展，芸能発表
  - 公民館まつりで，子供たちが学校(教科等)で学んだことを発表
- 実施期**
- 「サテライト講座」の実施(学校⇄公民館)
    - ・学校の授業へ住民が参加，公民館の講座へ学校の授業の一環で子供たちが参加
  - 〇〇キッズ(隔月第3土曜日開催)
  - 学校・公民館合同学習フェスタ(公民館まつりと合同実施)

※学校の教科（「生活科」や「総合的な学習の時間」など）の中に組み込めるよう学校と緊密な連携を図る。

信 公民館だより・ブログ・SNSで情報発

## 成果指標（目的の達成度，波及効果）

- 【定量評価】**
- ・学校に地域の人に関わった数
  - ・子供の地域の活動体験の数
  - ★この地域で暮らしたいと思う住民の数
- 【定性評価】**
- ・「〇〇キッズ応援団」チームとしての構築
  - ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

## 実施体制（連携・協力団体等）

- ・〇〇公民館（プロジェクト主管）
- ・〇〇地区自治協議会
- ・公民館団体利用者（サークル・クラブ等）
- ・小学校，中学校，PTA
- ・地域学校協働活動推進員
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

## 運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・〇〇地区自治協議会予算
- ・公民館主催事業予算（ほか）

## 発展・継続・関連

- 〇「〇〇キッズ応援団」の発足と活動の充実
- ・チーム化
  - ・連携授業(講座)の実施
  - ・人材確保と人材養成
  - ・オリジナルソング等の創作

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							● NW会議立ち上げ キックオフ会議			● 準備期 企画会議		● 研修会 ワーク
2年目	● 〇〇キッズ③						● 〇〇キッズ①	● ショップ文化祭	● 公民館まつり		● 〇〇キッズ②	
3年目	● NW会議・企画会議(随時)					● 〇〇キッズ(隔月)			● 合同学習フェスタ			

- 【参考情報】**
- 〇山陽小野田市教育委員会・中央公民館の実践事例（公民館を拠点とした地域学校協働活動）
  - 〇ひがしのキッズ（竹原市立東野公民館）

# つながりプラットフォームプロジェクト（公民館カレー食堂）【〇〇公民館】

## 地域の現状・課題（今の地域）

- ・一人親世帯の増加等を背景とした貧困問題
- ・家庭・地域の教育力の低下
- ・地域住民（多世代）の交流の場の不足
- ・地場産業（農業等）の担い手不足

## 目的（課題解決の方向性・こんな地域にしたい）

- ・地域全体で全ての子供を育む仕組みづくりと多世代交流
  - ・だれもが気軽に訪れ、集い、つながりあえる居場所づくり
  - ・地元の食材や地場産業（農業等）への理解・愛着と将来的な担い手育成
- 食（カレー）をテーマに、地域の誰もが集える“プラットフォーム”を創造**



## 取組の概要

### ポイント

- ① 経済的に厳しい、困難を抱える家庭の子供だけでなく地域すべての住民（子供）を対象に！
- ② 既存の公民館講座や関係団体のメンバーがスタッフに（“動員”でなく“楽しんで”活動）！
- ③ お年寄りから子供まで、親しみやすく、誰もが大好きな「カレー」をテーマに事業展開！

### 準備期

#### ■プロジェクトチームの組織化、事業企画ワークショップ開催

- ・関係団体・サークル等への説明と協力依頼
- ・協力者によるプロジェクトチームの組織化
- ・地域の実態や課題を把握・共有し、プロジェクトの展望を描くワークショップを開催。

### 試行期

#### ■プロジェクト会議

#### ■事業説明会（広報、周知説明）

#### ■「公民館カレー食堂」試行（年間5回）

- ・公民館講座や関係団体のメンバーがスタッフに！

### 実施期

#### ■「公民館カレー食堂」定例開催（毎月第1土曜日）

#### ■公民館まつりへの出展・協力（成果発表）

- ・各団体のカレー試食ブース ・“こどもカレー食堂”開店！（中高生による主体的な運営）
- ・プロジェクトの紹介展示ブース

※輪番制で各団体のオリジナルカレーを創作  
 ※地元の食材（規格外食材等）を農業法人等から提供協力

発信  
 公民館だより・ブログ・SNSで情報

## 成果指標（目的の達成度、波及効果）

### 【定量評価】

- ・プロジェクトに参加した住民数
- ・協力団体（ボランティア）数や提供食材数
- ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数

### 【定性評価】

- ・地域内ネットワークの構築
- ・地域力（ソーシャル・キャピタル）の醸成

## 実施体制（連携・協力団体等）

- ・〇〇公民館（プロジェクト主管）
- ・〇〇地区自治協議会
- ・〇〇地区社会福祉協議会
- ・〇〇地区農業団体
- ・保育所、小学校、中学校、PTA
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

## 運営財源・活動資金

- ・△△市（町）まちづくり支援事業補助金
  - ・〇〇地区自治協議会（農業部会）予算
  - ・「子ども食堂」関係の補助事業等活用
- ひろしまこども夢財団こども食堂支援事業、  
 フードバンク…

## 発展・継続・関連

- ・“出張”公民館食堂の実施（他施設・他地域への出前事業） ・つながりにくい家庭へのアクセスの検討
- ・こどもカレー食堂の定例実施 ・学校や企業、団体等の連携の広がり継続 ・カレー以外のメニュー開発



### 【参考情報】

- 浅原食堂（廿日市市浅原市民センター）
- 泉川公民館カレーの日（愛媛県新居浜市）
- 循誘公民館カレーの日（佐賀県佐賀市）の取組
- 各地の「子供食堂」の取組



# チャレンジ防災！プロジェクト in ○○ 【○○公民館】

## 地域の現状・課題 (今の地域)

- ・地域住民の防災意識が低い
- ・災害発生直後の避難所(公民館)運営の仕組みがない
- ・高齢者、障害者、乳幼児(子育て)世帯等の孤立・支援

## 目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・住民の防災意識の向上
  - ・地域防災力による避難所(公民館)の開設
  - ・災害時における地域での助け合いネットワークの形成(関係づくり)
- 地域の安全・安心拠点としての公民館づくり



## 取組の概要

- ポイント**
- ① 「防災」という住民誰もが自分事となる共通課題への取組みを通じて、地域力を醸成。
  - ② 既存の「地域資源」や「事業」を生かして、できるところから無理なくスタート。
  - ③ 公民館が核となり、学校・家庭・地域の連携を通じて防災教育を幅広く推進。

- 準備期**
- 防災教育ネットワーク会議の組織化、防災ワークショップの開催
    - ・地域内の防災・福祉・教育に関わる既存の多様な関係団体のネットワーク形成
    - ・地域課題を共有し、一体的な防災教育の推進を図る。

- 試行期**
- 避難訓練・防火訓練 ■ 救命救急講習
  - チャレンジ防災○○ウォークラリー
  - 災害時避難所開設訓練(HUG避難所運営ゲーム)
  - 「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」参加(毎年11月)

- 実施期**
- チャレンジ子ども○○防災キャンプ
  - チャレンジ防災フェスタ(公民館まつりと合同実施)
    - ・防災プロジェクトの紹介 ・ハザードマップ等の掲示
    - ・防災工作教室、防災紙芝居、防災カルタ ・消防車展示(消防車と記念撮影)

公民館だより・ブログ・SNSで情報発信

## 成果指標 (目的の達成度、波及効果)

- 【定量評価】**
- ・地域防災活動等に参加した住民数
  - ・△△市防災情報メールの登録者率
  - ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数
- 【定性評価】**
- ・地域内ネットワークの構築
  - ・地域力(ソーシャル・キャピタル)の醸成

## 実施体制 (連携・協力団体等)

- ・○○公民館(プロジェクト主管)
- ・○○地区自治協議会
- ・○○地区社会福祉協議会
- ・○○地区自主防災会
- ・保育所、小学校、中学校、PTA
- ・老人会 ・女性会 ・子ども会

## 運営財源・活動資金

- ・△△市まちづくり支援事業補助金
- ・○○地区自治協議会(防災部会)予算
- ・公民館主催事業予算(ほか)

## 発展・継続・関連

- 体験型防災学習の充実 ・クロスロードゲーム ・DIG(災害図訓練) ・「防災キッズ」養成講座
- ・防災教室「ひろしま」プログラム ・防災運動会(○○地区運動会と合同実施)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							●			準備期		●
							ネットワーク会議立ち上げ キックオフ会議①			NW会議②	防災ワーク	
2年目	●	●	●	●	●		●	●				●
	避難訓練、防災訓練 避難所開設訓練		試行期		救命救急講習		シヨ	防災ウォークラリー				NW
3年目	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	避難訓練、防災訓練 避難所開設訓練		実施期		NW	救命救急講習	防災キャンプ	防災産地	防災訓練			NW会議①
	NW会議②					一斉地震防災訓練			NW会議③			

- 【参考情報】**
- 地域における防災教育の実践に関する手引き(内閣府)
  - チャレンジ防災in原(廿日市市市民センター)
  - 防災研修&炊出訓練(庄原市口和自治振興センター)



# リノベ公民館プロジェクト

# 【〇〇公民館】

## 地域の現状・課題 (今の地域)

- ・ 男性, 中高年世代の地域参画
- ・ 地域住民(多世代)間交流の機会の不足
- ・ 公民館の貸館状態化, 利用者の固定化

## 目的 (課題解決の方向性・こんな地域にしたい)

- ・ 男性, 中高年世代の地域参画の促進
  - ・ 地域住民の絆づくり, 地域ネットワークの形成
  - ・ 公民館の利用活性化
- リノベーションの力で, 公民館が変わる! 地域を変える!



## 取組の概要

ポイント

- ① リノベーションの力で, 公民館が変わる! 地域を変える!
- ② 普段あまり公民館を利用しない, 男性や中高年世代の参画を促進!
- ③ 地域の企業・商店, 専門家, 既存の施設・事業など地域資源を最大限に活用!

準備期

- 思いを共有するためのワークショップ
  - ・ こんな地域をつくりたい, こんなことがしてみたい, こんな施設をつくりたいなどの思いを共有
- リノベ公民館キックオフ会議→プロジェクトチーム立ち上げ
  - ・ ワorkshop参加者を中心にプロジェクトチームを立ち上げ
- プロジェクトチームによる企画会議(事業計画立案)

試行期

- 日曜大工講座 (既存事業の活用・拡充)
- リノベーション講座(ワークショップ)全5回
  - ・ 地域の企業・商店, 専門家等の協力を得ながらリノベーションに関する知識・技能を習得
  - ・ 日曜大工講座の参加者を中心に, 男性や中高年世代の参画を促す

実施期

- リノベーション開始
  - ・ 公民館の老朽化した部屋などをリノベーション
- 〇〇まちづくりキャンパスオープン
  - ・ リノベーションした部屋を活用した事業開始
  - ・ 交流カフェ, ミニマルシェ, 子供体験講座など...
- リノベーション ステップアップ講座
  - 資材・機材や技術指導等は地元企業の協賛を得る。
  - 働く世代の方が空き時間を利用して自由に活動できるよう, 休日や夜間の会場開放を検討する。
  - 地元の若者(中高校生等)の協力を得られるよう, 学校と連携する。

## 発展・継続・関連

・まちづくりキャンパスの事業充実 ・地域内の新たなリノベーション施設の開拓 ・新たな協力者層の巻き込み

## 成果指標 (目的の達成度, 波及効果)

### 【定量評価】

- ・ プロジェクトへ参加した住民数 (男性, 中高年世代)
- ・ 公民館等の利用者数
- ★この地域で暮らし続けたいと思う住民数

### 【定性評価】

- ・ 地域内ネットワークの構築
- ・ 地域力 (ソーシャル・キャピタル) の醸成

## 実施体制 (連携・協力団体等)

- ・ 〇〇公民館 (プロジェクト主管)
- ・ 〇〇地区自治協議会
- ・ 地域おこし協力隊
- ・ 中学校, 高等学校, P T A
- ・ 地元協賛企業 (ホームセンター, 工務店等)

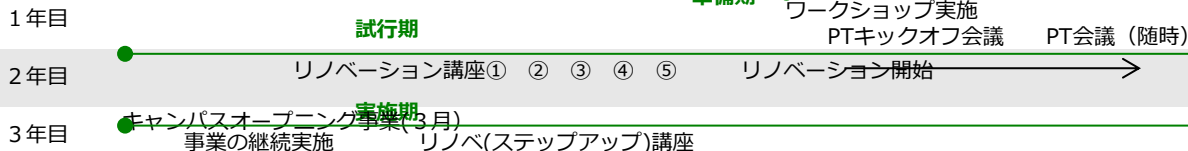
## 運営財源・活動資金

- ・ △△市まちづくり支援事業補助金
- ・ 公民館主催事業予算
- ・ 地元企業 協賛金 ほか

### 【参考情報】

- マスタひとまちカレッジとよかわキャンパス (島根県益田市豊川地区つろうて子育て推進協議会)
- 泉佐野丘陵緑地「パークレンジャー養成講座 (パーククラブ)」(大阪府営泉佐野丘陵緑地パークセンター)

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



# 持続可能な開発目標 (SDGs)

## 持続可能な世界を実現するための国際目標の特徴

- ・ 誰一人として取り残さない「包摂性」
- ・ すべてのステークホルダーが役割を持つ「参画性」
- ・ 社会・経済・環境に統合的に取り組む「統合性」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標





# スケジュール【予定】

## ▶平成30年度（準備調整）

3月 「ひろプロ」コーディネーターハンドブック（初版）の作成

## ▶令和元年度（試行実施）

7月 「ひろプロ」コーディネーター研修の実施（県内2会場）

8月～ モデル市町における検討チームの設置・運営，事業実践 （1年目）

「ひろプロ」の取組状況に係る調査研究

3月 「ひろプロ」コーディネーターハンドブック（2版）の作成

広島県生涯学習実践研究交流会における成果発表

→事業の成果・検証を図り，次年度に向けて事業内容を整理

## ▶令和2年度（本格実施）

7月 「ひろプロ」コーディネーター研修の実施（県内2会場）

8月～ モデル市町における検討チームの設置・運営，事業実践 （2年目）

「ひろプロ」の取組状況に係る調査研究

3月 「ひろプロ」コーディネーターハンドブック（3版）の作成

広島県生涯学習実践研究交流会における成果発表

## （▶令和3年度 以降）

「ひろプロ」コーディネーターステップアップ研修の実施を検討  
（コーディネーター力の更なる向上，実践交流等）

# 県と市町、それぞれが担う研修で 「学んだこと」や「学んだ人」が好循環する仕組みづくり ～連携・協働のプラットフォーム～

県内の生涯学習振興・社会教育行政における  
人材育成機能の充実

県の研修の修了者  
・市町の社会教育主事

県の研修の修了者  
・市町の社会教育主事

広島版  
学びから始まる  
地域づくりプロジェクト

県が担う研修

市町が担う研修

連携  
協働

高等教育関係者  
(研究者ネットワーク)

広島県生涯学習研究実践交流会

連携・協働のプラットフォーム

企画運営

支援

共催

地域課題対応研修支援  
(訪問型研修)

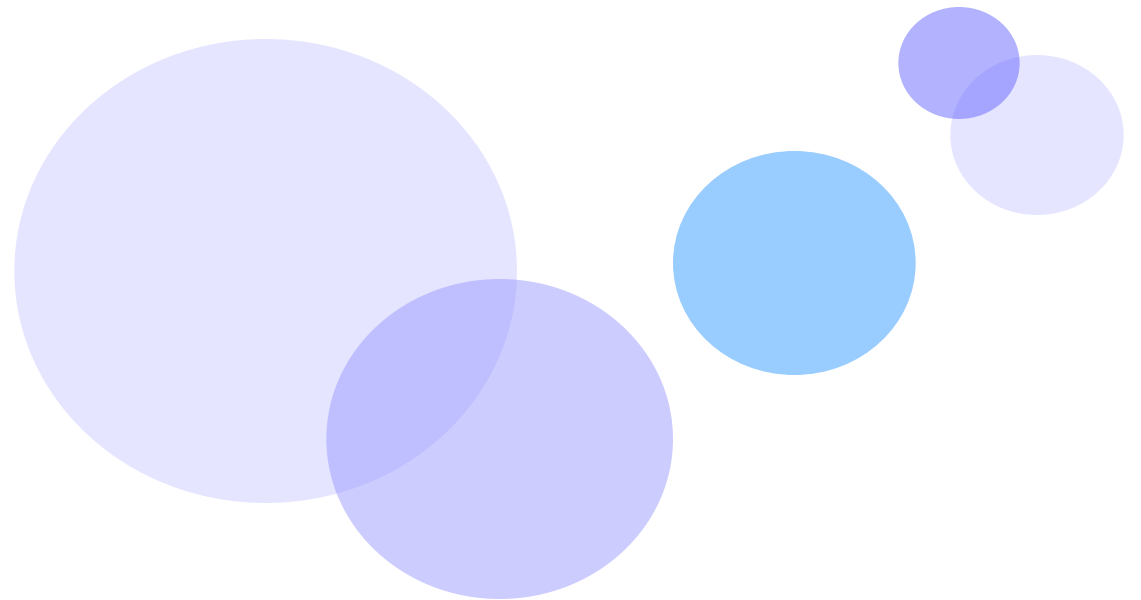
●県の研修への協力・支援

(グループ演習助言・支援・実践発表・  
コーディネート・コメントーター等)

●市町の研修を企画運営  
●OJT(学び合い)促進

# 広島県内の公民館の現状

## 【参考資料】



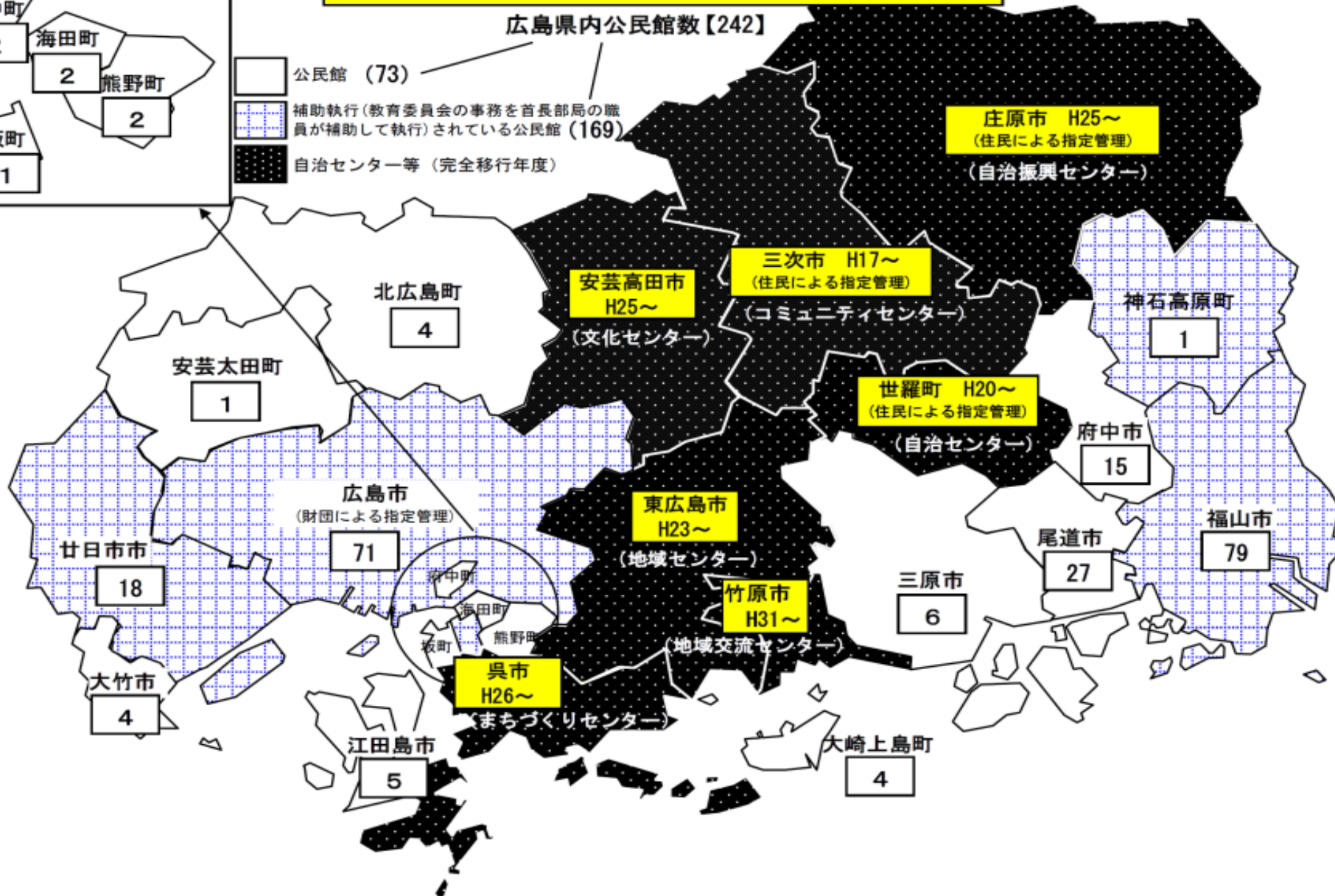
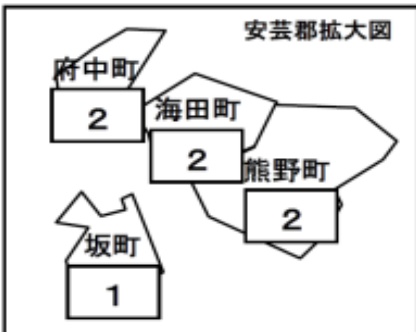
# 公民館等設置状況（市町別）

広島県の公民館等の状況（平成31年4月1日現在）

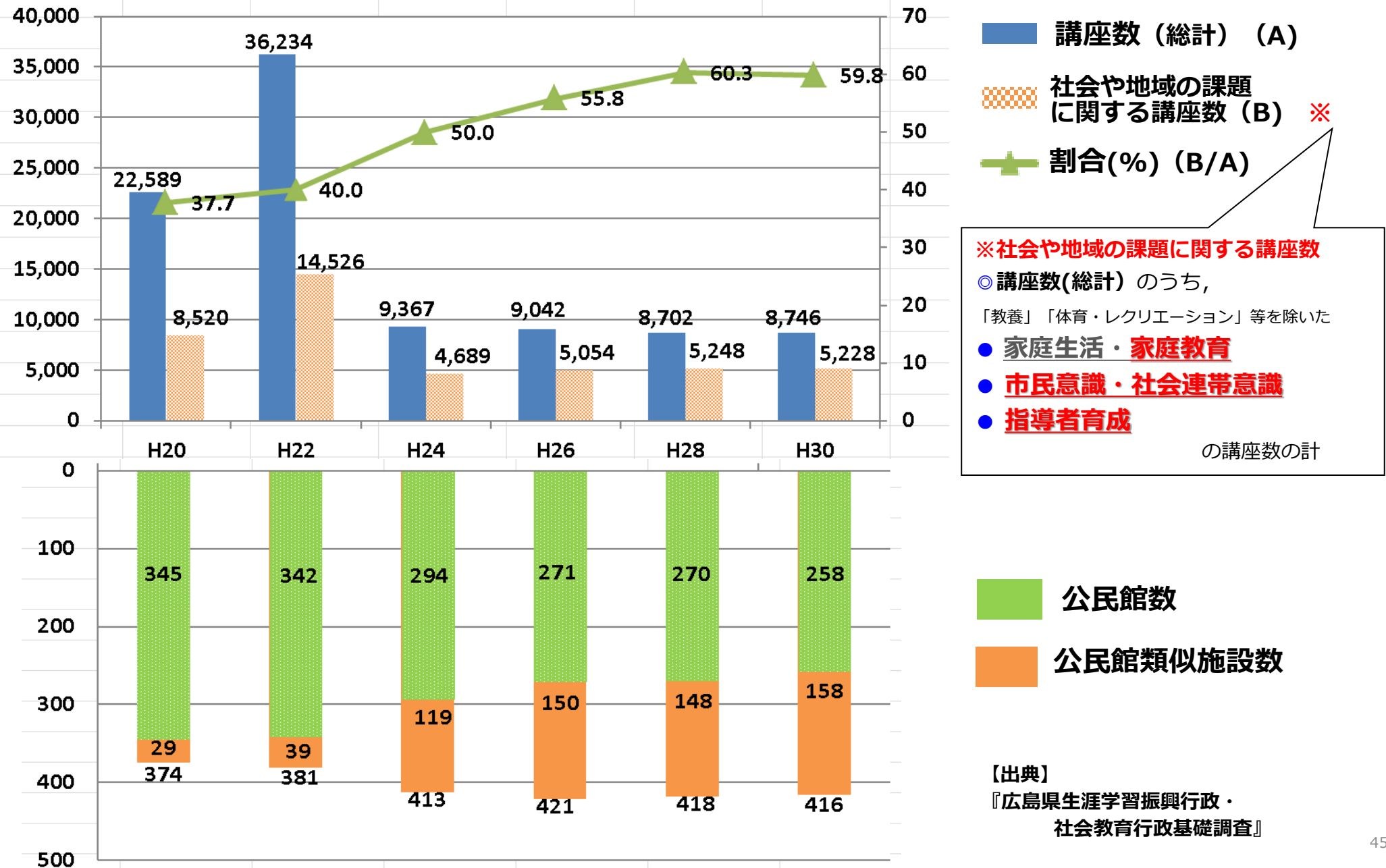
（調査中）

広島県内公民館数【242】

- 公民館（73）
- 補助執行（教育委員会の事務を首長部局の職員が補助して執行）されている公民館（169）
- 自治センター等（完全移行年度）

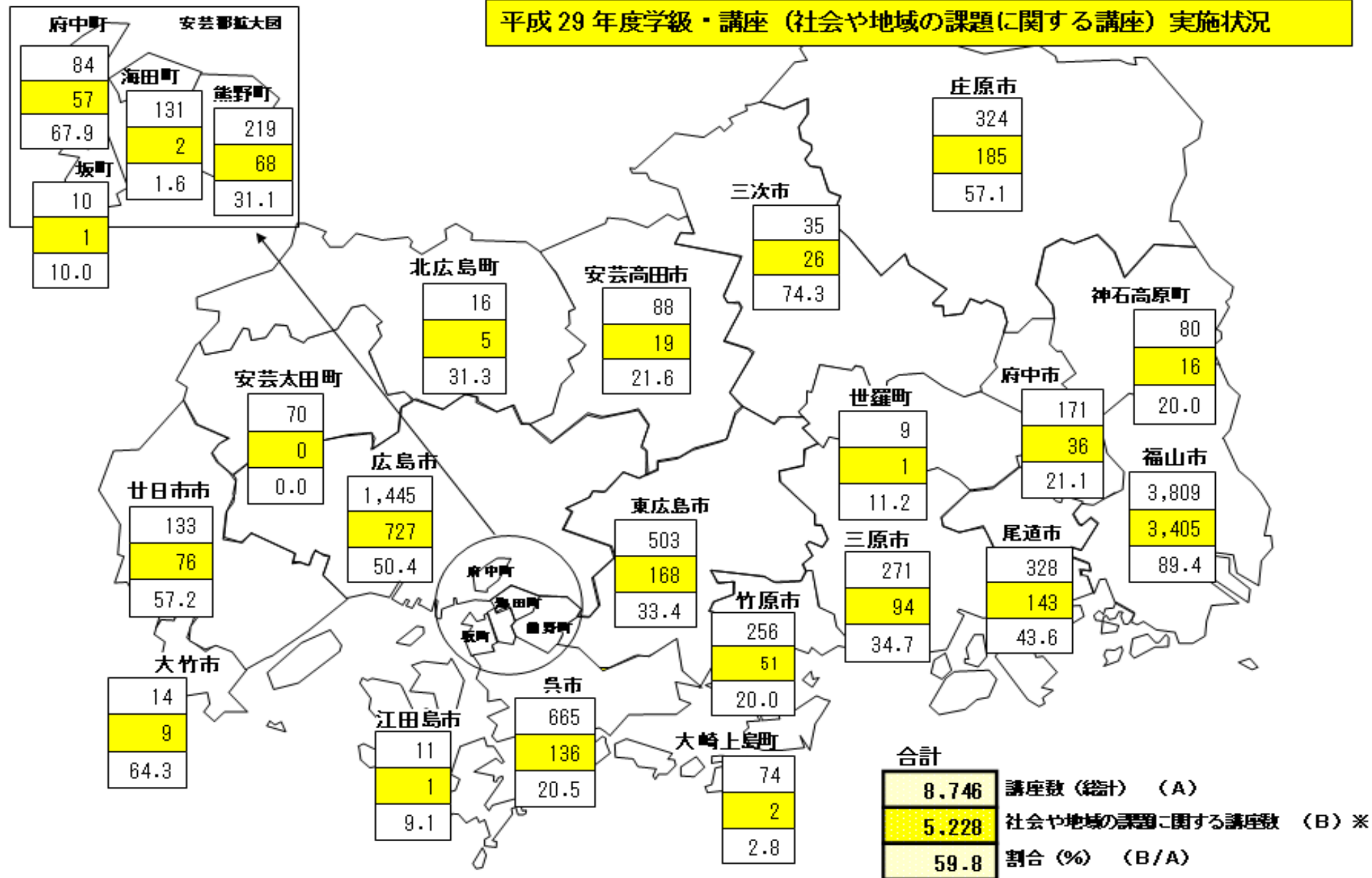


# 公民館等設置状況，学級・講座数（推移）



# 学級・講座数（市町別）

平成 29 年度学級・講座（社会や地域の課題に関する講座）実施状況



【出典】『広島県生涯学習振興行政・社会教育行政基礎調査』